

北海道大学低温科学研究所共同研究集会

海洋コンベアベルト終焉部の生物生産・物質循環における北方圏縁辺海の役割評価

日程：2022年11月21日（月）～22日（火）

会場：北海道大学低温科学研究所 3階講堂

（〒060-0819 札幌市北区北19条西8丁目）

世話人：近藤能子（長崎大学大学院水産・環境科学総合研究科）、西岡 純（北海道大学 低温科学研究所 環オホーツク観測研究センター）

趣旨

本研究集会では、北太平洋スケールの生物生産や物質循環における北方圏縁辺海の役割を評価するために、これまでにオホーツク海・ベーリング海で実施してきたロシアとの共同観測や、北太平洋で実施してきた国内観測船による研究成果を整理し、北太平洋の珪藻類の増殖を生み出す化学的プロパティを制御する仕組みを解明するための課題を抽出する。また今後必要となる研究面での具体的な取り組みを整理する。さらに、海洋コンベアベルト終焉部の生物生産・物質循環を理解するための議論を行う。

1日目 講演 11月21日（月） 13:00-18:20 低温研 3F 講堂

セッション1. 北太平洋における Fe 循環と移送過程（座長 西岡）

13:00-13:30 西岡 純（北大・低温研）

「Si・Fe 研究の研究進展と課題」

13:30-14:00 山下洋平・西岡純（北大院・地球環境・他）

「中層水循環により縁辺海から北太平洋に輸送される溶存鉄の化学形態」

14:00-14:30 近藤能子（長崎大学大学院水産・環境科学総合研究科）

「西部北太平洋におけるリガンド動態に関する話題」

14:30-15:00 休息

セッション2. 縁辺海での取り組み（座長 田中）

15:00-15:30 野村大樹、上野洋路、松野孝平、阿部泰人、大西富士夫（北大院・水産）

「練習船おしよる丸を利用した北極海での若手人材教育活動 2023 の紹介」

15:30-16:00 川口悠介・和川拓・乙坂重嘉・井桁庸介・伊藤大樹・矢部いつか、他

（東大大気海洋研・水産研究機構）

「日本海・対馬前線域における学際連携プロジェクト（FATO）の成果と展望」

セッション3. 北太平洋生物生産 1 (座長 野村)

- 16:00–16:30 Deng Huailin、西岡純、鈴木光次、小川浩史、安田一郎 (北大院・環境科学院・他)
「Phytoplankton responses to iron, macro-nutrient fluxes
in the western North Pacific」
- 16:30–17:00 矢部いつか (東大・大気海洋研)
「有光層への栄養塩供給を伴う磯口ジェット周辺における水塊混合について」

2日目 講演 11月22日(火) 9:30-15:00 低温研3F 講堂

セッション3. 北太平洋生物生産 2 (座長 近藤)

- 09:00–9:30 平譚享・西岡純・小畑元・安田一郎・山下洋平・大井田穰示・野村大樹・鈴木光次
(国立極地研・他)
「海色衛星データを用いた北方圏縁辺海の基礎生産と水塊分布に関する研究」
- 9:30–10:00 鈴木光次、Qiu Weichen、高尾信太郎、中岡慎一郎 (北大院・地球環境・他)
「北太平洋表層の珪藻類の動態」

10:00–10:30 休息

セッション4. ケイ素・栄養塩循環 (座長 川口)

- 10:30–11:00 齊藤宏明 (東大・大気海洋研)
「中層水の栄養塩組成からみた北太平洋の生元素循環」
- 11:00–11:30 小畑 元 (東大・大気海洋研)
「亜鉛と Si の北太平洋の循環に関する話題」
- 11:30–13:00 安田一郎 (東大・大気海洋研)
「外洋域における混合に関する話題」

12:00–13:30 昼食

セッション3. 栄養塩循環モデリング (座長 山下)

- 13:30–14:00 中村知裕 (北大・低温研)
「低温研モデルの改良方針とモデル研究で目指すもの」
- 14:00–14:30 三角 和弘、西岡 純、坪野 考樹、津旨 大輔 (電中研・他)
「北太平洋の水温躍層へのケイ酸塩の供給に関する数値実験」
- 14:30–15:00 総合討論